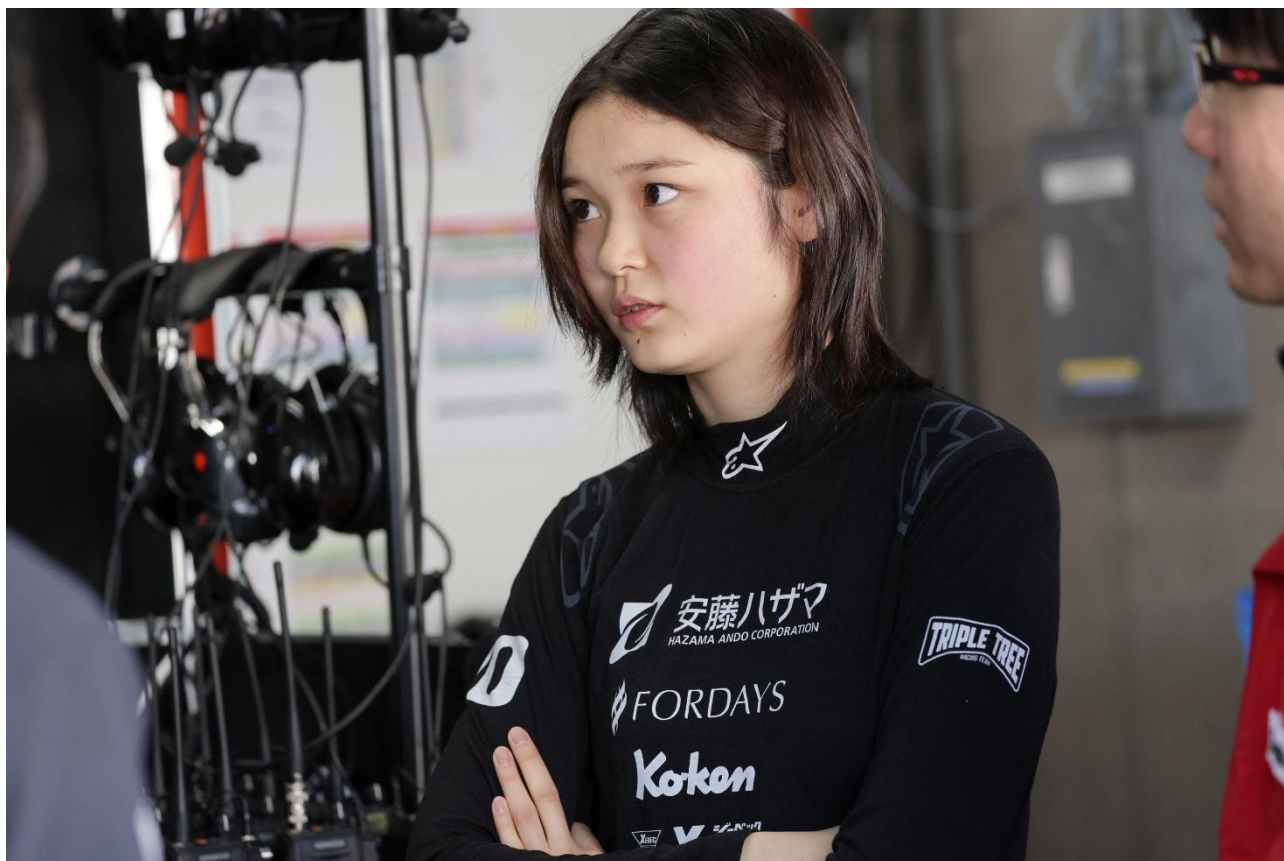


雨で赤旗中断された全日本スーパーフォーミュラ開幕戦。2度の再スタート直後に果敢な追い上げを見せた Juju だが、無念のスピン、リタイアに終わる。



結成2年目を迎えた『HAZAMA ANDO Triple Tree Racing』は、4月4日（土）、2026年全日本スーパーフォーミュラ選手権・第1戦に参戦いたしました。今大会は土・日連戦のダブルヘッダーで、その初戦となる本日の第1戦で、HAZAMA ANDO Triple Tree Racingの10号車をドライブするJujuは、全24台が2組に分かれて争われる予選のB組に出走し、12台中11位となる1分32秒272をマーク。1台が車両規定違反でノータイムとなったために予選総合20番手から決勝レースのスタートを切ることとなりました。

予選直前からポツポツと降り始めた雨は次第に強さを増しましたが、三宮家の瑤子女王殿下もお成りになり、開会のお言葉と国家斉唱のあと、午後2時45分、定刻どおりにセーフティカースタートが切られました。



気温 13°C、路面温度 16°Cというコンディションの中、雨はスタートと同時に本格的に降り始め、次第にドライバーの視界を奪うほどの雨量となってしまう、14 時 52 分、3 周を終了したところでレースは赤旗中断となりました。

その赤旗直前に、雨量が強まったことを無線でピットに伝えていた Juju が雨に足をすくわれた形でコースアウト。タイヤバリアに軽くヒットしましたが、幸いマシンに大きなダメージは無く、24 番手でレースに復帰することができました。

赤旗中断後にやや雨足が弱まり、主催者側は 15 時 55 分のレース再開を発表しました。レースは中断時間も含めて最大 120 分のタイムレースとなる可能性も出る中、再びセーフティカースタートが切られました。

4 周目からのレース再開となり、残り時間は 48 分 30 秒。再スタート直後に果敢な攻めの走りを見せた Juju は 2 台のマシンをオーバーテイクしましたが、目前でアクシデントが発生し、それを避けるためにポジションを落とす不運に見舞われました。そしてレース再開直後のマルチアクシデントにより、再びセーフティカーが導入されました。

その時点で 21 番手までポジションをリカバーしていた Juju は、レース再開を待ちつつ、タイヤの温度をマネジメントしながら周回を重ねます。

残り 5 分、20 周目にレースが再開し、雨で視界が困難な中、前を行く 2 台のマシンを勢いよくパスした Juju でしたが、さらに上位を狙った第 5 コーナーでややアウトにはらんだところで、前方のマシンもアウトにはらんできたことで、それを避けるために痛恨のスピン、コースアウト。マシンがグラベルにストップしてしまい無念のリタイアとなってしまいました。レースはセーフティカーに先導されたままチェッカーとなりました。

Rd	サーキット	周回数	天気	気温	路温	予選	決勝
1	もてぎ	3	雨	13°C	16°C	20	リタイア

※天気、気温および路面は決勝スタート時

◆ドライバー Juju のコメント

「予選で悔しい思いをしたので、絶対に巻き返すという意気込みで決勝レース臨みました。これまで雨のレースは 2 度ほど経験していましたが、いずれも良いフィーリングではなかったもので、今回はタイヤのウォームアップを意識して、エンジニアにもその方向でのセットアップを施してもらいました。最初にタイヤ温度を上げようと頑張り過ぎたのは私のミスですが、赤旗中断後のレースでは、セーフティカーあけの再スタートで 2 台のマシンをパス。前方のクラッシュを避けるためにポジションを落としたのは不運でしたが、さらに次のリスタートでも 2 台をパスすることができました。その際も前で飛び出したマシンを避けようとして自分がスピンしてしまったのは本当に悔しかったです。攻めきれたという手ごたえがあったので、次への自信につながる結果だと思います。明日も頑張ります」

Triple Tree Racing





◆監督 野田英樹のコメント

「予選での一発の速さを見せられるだけのセットアップを見いだせてはいませんでした。ロングランでの手応えはあったので、決勝が晴ればそれなりの自信はありました。残念ながら雨という悪コンディションとなってしまい、ドライバーの頑張りがすべてという難しいレースで、結果から言うとリザルトには残りませんでしたが、Juju は攻めようという闘志の見えるレースをしてくれたので、そういう意味ではすごく良かったと思います。2度目のリスタートでも2台抜いて、さらにもう1台抜こうとややオーバーランしかけたのですが、その同じタイミングで飛び出してきたマシンを避けようとしての最終的なスピンですから、それは不運だったと思います。あの水の多い路面コンディションの中で、冷えたタイヤで、たった5つのコーナーを回ったところであれだけの台数を抜くというのは、なかなかできることではないです。それを2度のリスタートで2回もやってくれたというのは、これまでやってきたことへの成長がみられるレースだったと思います」

◆代表 村司宏樹のコメント

「今年も多くのスポンサー様のご尽力で開幕を迎えることができました。雨天のレースの中でアグレッシブに臨むチームとドライバーの姿勢を見せることができたと思います。寒い雨の中、最後まで応援いただいたスポンサーの皆様や、ファンの皆様の気持ちは本当に心強く、ありがたいものでした。チームとして反省すべき点はしっかりと省みた上で、気持ちを切り替えて明日の第2戦に臨みます。応援よろしくお願いします」

◆本件に関する問い合わせ先◆

Triple Tree Racing チーム代表 村司宏樹

e-mail: muraji@3tree.jp / mobile :080-3624-3989



Triple Tree Racing

